

## 令和3年度第2回鹿沼市総合教育会議 議事録

### 1 日 時

令和4年1月25日（火） 午後1時30分～午後2時20分

### 2 場 所

鹿沼市役所特別会議室

### 3 出席した委員

市 長	佐藤 信	教 育 長	中村 仁
教育長職務代理者	鈴木 泉	教 育 委 員	倉松 俊弘
教 育 委 員	宮田 里枝		

### 4 出席した事務局職員

教 育 次 長	高橋 年和	教育総務課長	駒場 秀明
学校教育課長	大貫 照実	学校教育担当	猪瀬 武
生涯学習課長	塩澤 恵功	文化課長	渡辺 靖
スポーツ振興課長	谷津 勝也	共同調理場長	高橋 学
図書館長	田野井 秀雄		
教育総務課	津吹 真章	教育総務課	山本 敬子

### 5 傍聴者

なし

### 6 会議の概要

#### (1) 開 会（進行：駒場教育総務課長）

#### (2) 挨拶

##### ア 市長挨拶

総合教育会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。教育委員の皆様には、とりわけ教育行政の面でご協力をいただき感謝を申し上げます。この時期なのでコロナの話になってしまいますが、学校や保育園などで集団感染やスポ少活動で感染が広がったりしています。これまでは親から子への感染が多かったが、最近は子供から広がることが多く状況が違ってきており、急拡大により対応に追われています。影響を最小限に抑えるという方向でこれからも努力するとともに、3回目のワクチン接種も2月から始まるので、市民の皆さんに接種をお願いしていきたいと思っております。

10月には国体も始まり、本市も卓球と女子バレーボールの開催に向け、準備をしっかりとやっていきますので、皆様にもご協力をお願いいたします。

本日は教育大綱と教育ビジョンの策定ということですが、今後も教育委員の皆様とも密接な連携を取って教育行政を進めていきたいと思っております。

## イ 教育長挨拶

市長においては、総合教育会議を開催いただき感謝申し上げます。また、委員皆様にも教育施策の推進にあたり、日頃からご尽力を賜り、改めて敬意と感謝を申し上げます。本日の会議のテーマは「教育目標の文言見直し」と「教育大綱・教育ビジョンについて」ですが、教育目標については、市長の思いを受け、意見交換をしてまいりたい。教育ビジョンはこれまで約1年を掛けて策定してきましたが、今後5年間の教育施策の方向性を示すものであり、市長また委員の皆様にも改めてご確認いただくとともに、ご意見を賜りたいと思います。

教育行政を取り巻く課題は、児童生徒の減少や新型コロナの拡大、ICTの活用など様々であります。何とか乗り越え、新たなビジョンのもと、未来を担う子どもたちが生き生きと成長できるための施策を展開し、教育行政の推進していきたいと考えています。今後も市長部局との連携を強化し円滑な業務遂行を図るとともに、皆様にはこれまでどおりのご支援をお願い申し上げ、挨拶といたします。

## (3) 協 議

### ① 鹿沼市教育目標の文言の見直しについて

(説明)

「資料1」…事務局

(意見交換)

市長 行政の役割として、底辺で苦しんでいる人の立場に立って物事を進めるとするのが基本で、底上げすることによって社会全体を良くしていくのが大原則である。この目標にあるように「すこやかな心と体をもち」と言いきってしまうと、そうでない人たちが疎外されたようなマイナスイメージを感じてしまうのではないかということから、今回問題提起をさせていただいた。

鈴木委員 後ろにある「思いやりのある市民を育む」には「すこやかな心と体」をもった方がいいと考え、また意味が違って来る。体が不自由であっても心が豊かであれば、この教育目標の意味は通じると考えるので、このままで良いかと思う。

倉松委員 すこやかなの意味をどう捉えるかだと思う。すこやかとは心身が健康であることで、健康とはWHOの定義では、身体的精神的社会的に良好な状態であることで、単に疾病や病弱の存在しないことではないとされている。これは病弱の人や認知症などの人も健康になることができるということであり、またその逆もある。このことから「すこやかな心身を養い」とすれば意味が通るのではないか。

宮田委員 すこやかにはいろいろな健康を含み、成長や希望など前向きな意味が込められていると感じる。「心と体をもち」という表現に違和感があるとすれば、「心と体のすこやかな成長」ということであれば皆が前向きに向かっていくというように感じられるのではないか。

(欠席した平野委員からのコメント)

身体的にハンディキャップを持つ方が健康ではないということにならないかと思うが、言葉として誤解が生じることもあるかもしれない。「人間性豊かで」「豊かな人間性をもち」などの表現の方が適しているのではないか。

教育長 事務局としての考えを述べると、すこやかという言葉自体にはハンディキャップを持つ人も含めてマイナスイメージを持つものではないと思うが、誤解を与えかねない表現ということも理解する。「笑顔あふれるやさしいまち」ということも考慮し、本日の皆様からの意見を精査して、再度内容を示していきたい。

鈴木委員 体の不自由さでなく、自らの心がいかに豊かにあるべきかが重要である。さまざまな意見が出されたので、もう一度考え直して形にしていきたい。

⇒ 今回出された意見を踏まえ再度検討し、市長及び教育委員に示していくことを確認した。

## ② 教育大綱（案）確認について

(説明)「資料2」…事務局

⇒ 意見なし

## ③ 第2次教育ビジョン（案）の確認について

(説明)「資料3」…事務局

鈴木委員 現在、「持続可能な」という言葉が重要視されている。そのことからSDGsの視点は大切であり、教育ビジョンにも記載があるが、教育行政においても十分念頭において取り組んでほしい。

(4) その他  
なし

(5) 閉 会